

米価が暴落でたいへん

国・県・市は支援の手を

米価が暴落しています。60キロで8千円という報道もされています。コメ作りには最低一表1万6千円の経費が必要です。農民連は①実態調査をする。②過剰米の市場隔離 ③生産調整の5年後の見直しを撤回する。などを農水省に申し入れました。日本共産党も同様の内容を政府に要求し、各地で県、市への独自支援を申し入れするなど、奮闘しています。

現在の菖蒲清掃センター
手前に広がる稲穂の田が
市民の森予定地



老朽化が進むゴミ焼却炉

菖蒲焼却炉を増設する新たな建設案が示されました

9月2日全員協議会、10月1日久喜宮代衛生組合において、菖蒲清掃センターの建て替え整備についての案が示されました。その内容は、現在稼働している3箇所の清掃センターは、老朽化に伴い新たなごみ処理施設を整備することが望ましい。菖蒲町台地区住民から、菖蒲清掃センターの建て替えと組み合わせで、周辺に「仮称本多静六記念 市民の森・緑の公園」を合わせ持つ公園整備を求める「要望書」が出された。8月31日地権者の皆さんに久喜市が「おおまかに考える処理施設」の説明をし、市と合意が成立した。今後事業推進をはかり平成35年度に稼働させたいというものです。

焼却施設の概要

報告では、新焼却施設は1日あたり焼却能力150トンを見込み、建設にかかる費用はガス方式で111億円を見込むとしています。

現在稼働している久喜市の償却施設

清掃センター	該当地区	竣工年(経過年数)	衛生組合計画
久喜宮代	久喜・宮代	昭和50年(39年)	2019年更新し稼働
八甫	栗橋・鷺宮	昭和63年(26年)	平成26年延命対策
菖蒲	菖蒲	昭和63年(26年)	寿命延命策が必要

今後、宮代町との対応については、3つの選択肢がある。①これまで通り一部事務組合で継続。②久喜市・宮代町それぞれで独自にごみ処理を進めていく。③宮代町が久喜市に委託する。どの方向で進めていくか、随時宮代町と協議していくとしています。

借り入れをする手にも力がこもるが、「コメ作っても飯が食えねえ」の声も。



となりの加須市では、「米価の安定対策を求める意見書」が全会一致で可決されています。

意見書では、「これ以上の暴落がつづけば、農家の担い手に計り知れない打撃となる」とし、「政府の責任で需給の調整を行なうべきであり、緊急対策を講じる必要がある」と断定。政府に対策の実施を強く求める内容になっています。

久喜市が清掃センター統廃合計画案を発表する

年金下げないで！
請願出されるも賛成少数で否決される

9月議会に、全日本年金者組合 久喜市協議会から「年金のさらなる削減を中止すること。最低保障年金制度を創設すること。また、年金削減のしくみ『マクロ経済スライド』を廃止すること」を内容とする意見書を国に提出してほしい旨の請願が提出されました。

日本共産党久喜市議団は、紹介議員となり採択に向け全力を尽くしました。

【請願趣旨】

政府は3年間で年金を2.5%も削減する法律を成立させたが、高齢者の生活と経済への悪影響を避けるため年金を下げずに据え置き、現在の年金水準が保持されたもの。生活必需品の値上げ、社会保険料の相次ぐ引き上げなどで高齢者の生活は厳しさを増している。年金を引き下げたことは、道理に合わない。年金引き下げでなく、最低保障年金の実現こそ待たれている。

昨年10月の年金が引き下げに、多数の受給者が行政不服審査請求を行い、その数は12万6千人を超えている。物価が上がり、消費税が増税されるなか、これ以上年金が削減されたら生活が成り立たなくなる。年金の削減は消費を冷え込ませ、国の経済にも負の影響を与え、地域経済にも大きな影響を及ぼす。安倍首相は、「経済の好循環」を経済政策の柱にしているが年金のさらなる削減は、それに逆行するもの。

さらに、マクロ経済スライドの実施および改悪による連続的な年金削減の計画は若者を中心に年金離れが一層進み、年金制度への信頼はさらに低下する。としています。

採決の結果は

この請願に賛成したのは、日本共産党、市民の政治を進める会、田中勝氏の7名のみで、不採択となりました。

市政に住民の声を！一般質問（後編）



平間
ますみ



子どもたちに健康な歯を 維持してほしい

問 本年度、小学校・中学校における歯肉炎の児童数は何名か。

答 小学校91人、中学校170人、計261人
問 養護の先生が受ける研修は、どのように進めているか。

答 昨年9月と11月久喜市立小中学校養護教諭部会を開催し、情報の交換や共有化を図っている。

問 市として、啓蒙活動や治療に対する環境整備の充実は考えられないか。

答 保護者を対象に、学校歯科医を呼んで、正しい歯磨きやブラッシングの仕方を指導する活動や、朝礼でも力入れて取り組んでいきたい。

要望 歯周病のリスクは、そうでない人と比較すると、脳卒中が2.8倍、心疾患が2.7倍、肺炎に至っては4.2倍、糖尿病は6.1倍、その他早産や低体重出産7.0倍にも上る。保護者の皆さんへの啓蒙活動をお願いしたい。

「年金の削減中止を求める意見書」 年金者組合からの請願に賛成討論

高齢者の暮らしは深刻になっていきます。今、政府が行うことは年金の削減を中止すること。2013年に、国連が日本政府に出した「国民年金制度に最低補償年金を導入する」この勧告を実行することです。この立場から賛成討論をしました。

12号線の歩行者安全対策を

問 県道川越・栗橋線（12号線）さくら通りと交わる所の備前堀川にかかる橋は、歩行者が通れる状態ではない。歩行者・自転車を通れる程度の橋を架けてほしいが、いかがか。

答 県では12号線の歩道整備を順次進めている。今のところ、該当箇所の整備は予定をしていない。市では、安心・安全な道路環境作りのため、歩道整備の要望をしていく。

市は児童虐待の対策強化を

問 今年5月、厚木市で起きた5歳児の虐待殺人事件、8月、伊予市の17歳少女暴行死体遺棄事件など子どもを取り巻く児童虐待、ネグレクトが問題となっている。久喜市の相談状況、対応はどうか。どのような対策を取っているのか。体制の強化が必要ではないか。

答 平成25年度県中央児童相談所への相談件数は、55件、管轄の警察署が14件であった。継続対応は26件である。久喜市では、要保護児童対策地域協議会での実態把握、検討、情報の共有化を図っている。ケースワーカーや各児童相談員による家庭訪問、電話相談、受け付け相談など細やかな対応に努めている。

渡辺
まさよ



石田
としはる



重症児を抱える家族が安心して 暮らせるように改善を

問 岩槻にある県立小児医療センターがさいたま市に移転する。県は1週間に数日のみ開業する計画を発表。重症児の家族は、「痙攣を起こすなど緊急を要する場合にこそ現在地で」との思いがある。

答 市は当初、東部地域連絡協議会から県に対し申し入れの計画をした。今こそ、24時間365日小児医療センターの明かりを消さない方向で声を上げるべきでは。

答 県の一部機能存続が示されたことは、関係者の意見を十分聞いた上で出たものと市は認識している。

要望 田中市長は、埼玉県市長会の会長もされている。ぜひ機会を捉え要望していただきたい。

稲田から出る水による道路冠水対策は

問 栗橋地区では、道路より高い稲田からの漏水で恒常的に道路冠水している箇所がある。解消に向けた取り組みは。

答 原因者である土地所有者や耕作者に対し、道路へ漏水しないよう適切な管理をお願いしていく。

スポーツに親しむ市民を増やすために 卓球用具の整備を

問 卓球台で修理が必要とされる台の、修理はどのように進めているか。

答 8月末時点で修理の必要となるものが5台。その都度必要に応じて行っている。

学校教職員のはたらく環境改善を

日本の教職員は、世界の先進国の中でもいちばん多忙だといわれている。

問 久喜市の小中学校では、教職員の出勤の記録を把握しているか。また、心の病で休職中の職員は。

答 出勤が7時ころで、退勤は、午後6時から7時ころ。（拘束が12時間近い）現在、精神疾患で休職が1名いる。

問 出退勤の記録はされていないということだが、文科省からはタイムカードを含めて、きちんと記録するように通知が出ている。改善を求める。そして、教職員からは、「部活動での心労・疲労で本来の教育に影響さえ出ている状況がある」また、「授業準備などの時間の確保や、日常の相談体制が必要」との声があるが。

答 授業時間も増えているので、（本来なら）人が増えるところ、改善されていないことが課題だ。

市税の過徴収（とりすぎ）調査を

問 新座市で固定資産税を誤って27年間も多くとり過ぎていた。「小規模住宅の特例」を適用させなかったためだが、久喜市では調査してきたか。

答 新座市の報道があったので、現在、9300件を調べているところ。今現在では、平成22年に栗橋地区で1件あったことが判明している。

※この後、今後判明した過徴収について過去20年さかのぼって返金すると答弁。

杉野
おさむ

